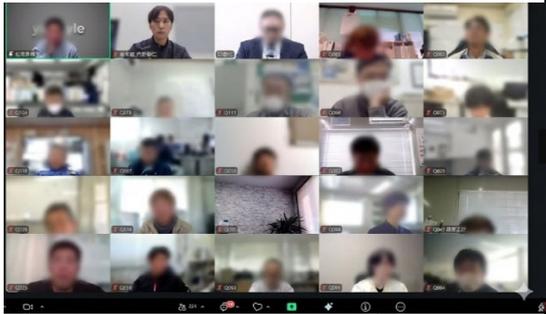


(様式-1)

ICTアドバイザー活動報告書

1	実施(予定)日時	2025/12/23	
2	アドバイザー企業・団体名	株式会社金本組	
3	依頼者	新建新聞社	
4	実施場所	WEBセミナー	
5	対象人数	200人	
6	区分	技術支援	<input type="checkbox"/> -I 3次元計測関係 <input type="checkbox"/> -II 3次元設計データ作成関係 <input type="checkbox"/> -III ICT建設機械による施工関係 <input type="checkbox"/> -IV 3次元施工管理関係 <input type="checkbox"/> -V 総合マネジメント
		講師	<input checked="" type="checkbox"/> -VI ICT施工の研修・講習会
7	実施内容		
<p>【開催趣旨】 国土交通省が掲げる「i-Construction2.0」により、ICT活用はもはや原則となりつつある。しかし、発注要件や加点目的での対応にとどまり、現場の省力化・利益向上にはまだ課題が残るのが実情。一方で、ICT要件のない日常の現場でも、内製化によって真の業務効率化を実現している企業も存在します。 その道のりは、華やかさよりも地道な試行錯誤と現場への深い理解に支えられたものです。 今回は、全国の先駆者や挑戦者によるリアルな実践事例を紹介。 このセミナーの登壇者として、(株)金本組のICT活用事例をご紹介します。</p>			
 <p>建設ライフフォーラム 2025 冬 2025.12.23 Tue CPDS 4ユニット 設計CPD 3単位 キラキラじゃない! ICT内製化の本当の価値は?</p>			
			
 <p>Session 2 14:30-15:20</p> <p>『地域建設業の挑戦！インフラDXが切り拓く土木の新時代』</p> <p>株式会社金本組 ICT推進室 内野 智仁 氏</p> <p>宮崎県の地場ゼネコンに新卒入社、人事・労務・採用担当者として従事。2017年よりUAV民間資格を取得したのち、建設現場のICT支援を行う。年間40件以上のICT支援を行っている。</p> <p>本講演では、従業員20名という小規模ながら株式会社金本組が、建設現場の自動化とBIM/CIM活用による生産性革新を解説。i-Construction2.0を軸に、自動油圧ショベルの実証事例、ICT支援工事を行う中で発見した地域建設業の現場から生まれる「挑戦と進化」の実例を紹介します。</p>			
			